

第8回支部通常総会を開催

(一社)日本建設機械施工協会中国支部は、第8回通常総会を5月20日ホテルセンチュリー21広島において、本部より田崎忠行会長他を迎え、支部団体会員75社（うち委任状27社）の参加のもとに開催しました。

冒頭、河原支部長の挨拶で、「近年は自然災害が頻発しております。とりわけ昨年の西日本豪雨では死者が220名を超える大きな被害が発生しました。このような大規模災害に対しては、今まで以上に国土の強靱化への取り組みが必要になっているとともに、住民一人一人がいかに危機管理意識を持つかが重要となっています。また、南海トラフ地震の発生が現実味を帯びる中、高齢化が進む社会インフラの更新、老朽化対策と防災・減災対策を含めた総合的な取り組みが強く求められています。今年度の公共事業関係予算は前年度比1.3%増が確保されましたが、技術者や技能者の不足による生産性の低下といった深刻な問題も顕在化しています。

このような中、国土交通省の取り組みであるi-Constructionも5年目に入り「ICT土工」から「ICT舗装」「ICT浚渫工」へと深化し、新たに「ICT法面工」「ICT地盤改良工」「ICT付属構造物設置工」への拡大が公表されております。中国地整では昨年からの「ICTチャレンジ型」や新たに「中国LightICT」など幅広の取り組みが着実に進められております。

当協会におきましても、これまでにICTを活用した情報化施工について、現地研修会や講習会等を通じ人材育成面での支援を行って参りました。新年度も今まで以上に情報化施工を中心にi-Constructionの普及・促進に向け、情報発信や人材育成等に取り組む所存でございます。

引き続き会員の皆様方のご支援、ご協力を宜しく願います。」と、昨今の情勢を踏まえた中国支部の方針と会員への協力要請が伝えられました。

総会議事においては、平成30年度事業報告及び決算報告、令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）の審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。



また、令和元年度「建設の機械化施工優良技術者表彰」では、会員各社から推薦された運転整備部門2名、管理部門3名、技術開発部門1名の計3部門6名の優良技術者に河原支部長より表彰状と記念品が贈られ、支部長の祝辞と会場からの拍手で終了しました。

今年度の優良技術者表彰を受賞された方々は次のとおりです。



運転整備部門	村上 優	：日本道路(株) 中国支店
	荒木 健作	：鹿島道路(株) 中四国支店
管理部門	森 武志	：五洋建設(株) 中国支店
	水野 貴之	：前田道路(株) 中国支店
	岸田 光	：新光産業(株) 建設事業部
技術開発部門	安福 友哉	：奥村組土木興業(株) 広島支店

総会に引き続き行われた講話では、中国地方整備局企画部長の富樫篤英氏から「国土交通行政の最近の話題」と題し、令和元年度における主要事業及び主要施策が紹介されました。

また、記念講演では、(株)加藤組の原田英司氏から平成30年度「i-Construction大賞」で大臣表彰を受賞した「国道54号下布野歩道工事」について「小規模現場でのICT技術活用による生産性向上」と題し、歩道工事のような極小規模の工事はICT土工には不向きとされる中、建機メーカーと協力し、汎用施工機械（小型バックホウのチルト機能付排土板装着型）にブルドーザのマシンガイダンスを移植し全国発の「3Dガイダンスミニショベル」を構築することで現場の生産性向上に成功した事例や、同社が取り組まれているICT技術の活用事例が紹介されました。



講演状況



受賞現場の概要



受賞対象の技術内容



排土板に装着したセンサー



企業説明会



地元説明会での3Dプリンタモデルを活用した説明



マルチビーム無人ボートを使った深浅測量



完成予想図の作成・施工手順の確認

会員紹介コーナー


サイテックジャパン株式会社



未来へ挑む 技術者へ





サイトワークス(3次元計測)



アースワークス(MC/MG)



急成長する i-Construction 市場に向けて、
建機施工、ICT施工管理などICT活用工事に
必要な Trimble のソリューションを、現場条件
に合わせて提供すると共に、建設業の新たな
働き方を支援いたします。

各種ソフトウェアソリューション



現場のクラウド管理



◆ 本社：〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-16-2 テクノポート大樹生命ビル
◆ TEL：03-5710-2594 FAX：03-5710-2731 ◆ URL: SITECHJP.COM

「i-Constructionセミナー(i-Con貫徹の時代へ)」を開催 開催6年目 i-Conセミナーとして定着

(一社)日本建設機械施工協会中国支部では、4月22日(月)に広島にて、翌23日(火)に米子にて「i-Constructionセミナー」を開催しました。

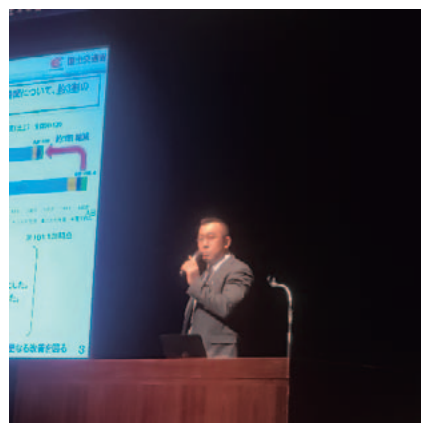
このセミナーは、i-Constructionの普及・促進を目的とし、発注機関ならびに測量、設計、施工、維持管理に携わる企業の技術者を幅広く対象としたセミナーを実施したもので、広島会場331名、米子会場169名と合計500名の参加を頂き多大な反響を得ることができました。

平成26年11月に岡山で、平成27年4月に広島で開催した「CIM・情報化施工最新情報セミナー」を前進させ、i-Constructionが登場した平成28年よりi-Constructionセミナーでは国でも有数のセミナーとなりました。

今年も基調講演では、平成31年度の追加改定部分の解説や今後の方向性などを解説していただきました。また、平成30年度の「i-Construction大賞」を受賞された2社から「ICT土工事例紹介」もなされ、非常に内容の濃い講習会となりました。

さらに、今年度から中国地方整備局にて取組予定の「中国LightICT」に活用できるツールを中国支部会員各社より募集を行い、それらのツールを紹介する時間も設けることができました。

中国支部では、今後もこのi-Conツール集を充実させ、建設施工現場の生産性向上に活用いただける仕組みづくりを検討して参りますとともに、i-Constructionがより普及していくように様々な取組を実施して参ります。



セミナーの内容は次の通りです。(講師敬称略)

○「基調講演」： i-Constructionの最新情報

国土交通省公共事業企画調整課

企画専門官 山下 尚 (広島)、課長補佐 二瓶 正康 (米子)

○中国地方 建設現場の生産性向上について

中国地方整備局企画部

工事品質調整官 安立 宏 (広島)、機械施工管理官 竹田 幸詞 (米子)

○小規模現場で生産性向上を実現～ i-Constructionの殻を打ち破る～

(株)加藤組 取締役土木部長 原田 英司

○～ 3次元データ活用！ ICT導入の勧め～

(株)大竹組 常務取締役 山西 公彦

○小さなi-Conツール紹介

(一社)日本建設機械施工協会中国支部

第44回 新技術・新工法発表会開催

(一社)日本建設機械施工協会中国支部では、主催事業として支部会員各社の開発等による「新技術・新工法」について、広く関係各位の方々に発表、報告出来る場として、毎年2回の「発表会」を開催しております。

今年度の1回目の「第44回新技術・新工法発表会」を下記のとおり開催しました。

日 時：4月25日(木) 13:00~17:00

場 所：広島市まちづくり市民交流プラザ（広島市中区袋町6-36）

北棟：6F [マルチメディアスタジオ]

講 話：講師

①国土交通行政の最近の状況について 中国地方整備局 企画部 技術管理課長 山崎 彰

②新技術・新工法活用の状況について 中国地方整備局 企画部 機械施工管理官 竹田 幸詞

発表会課題：技術発表

①MR技術を活用したトンネル維持管理システム『トンネルMR』 (株)鴻池組 長沼 論

②軟弱地盤改良工（スラリー攪拌工法）『GIコラム工法』 GIコラム研究会 九十九 督

③ICT活用による保全業務の高度化について 東芝デジタルソリューションズ(株) 星川 俊則

④施工現場での河川情報の活用について ～国土交通省「川の防災情報」を用いて～

(一財)河川情報センター 秋山 良壮

(敬称略)

今回の発表会では、最新の情報に基づく国土交通省中国地方整備局より2題の講話の後、新技術・新工法に関する4つのテーマについて発表がありました。その内容は、ICT活用によるインフラの老朽化に対応する維持管理・更新などを支援するシステムとして、MR技術を活用して短時間の調査と経年比較を可能にしたトンネル維持管理システムや現場を対象としたタブレットやスマートグラス、ARやVRなどのICT技術活用のソリューションの紹介がありました。また、激甚化・頻発化する水害・土砂災害の予防的ソフト対策として有効な水文観測情報をリアルタイムに提供する「川の防災情報」や集中的に整備が進む「危機管理型水位計」による「川の水位情報」の住民避難や災害応急対策での活用に合わせて施工現場での活用の有効性についても紹介がありました。そのほか、小型ながら大型機並みの改良径・改良長（改良径φ2000・改良長25m）をロッドの継ぎ切り無しで施工可能な軟弱地盤改良工法について、施工例などとともに紹介がありました。

発表会の開催にあたり、国土交通省中国地方整備局並びに発表会員企業等関係の方々のご協力に感謝いたします。また、毎回実施しているアンケートを参考に今後も新しい情報をタイムリーに提供できる機会として会員の皆様の期待に応えたいと考えています。次回もよろしくお願いします。



出水期前災害対策用機械の操作訓練を実施 ～応急活動協定に基づく災害対応能力の向上～

災害時協定会社における災害対応能力の向上のために、防災技術センターである中国技術事務所が所有する災害対策用機械の操作訓練を、出水期前の5月23日に実施しました。

訓練には中国技術事務所の災害時協定業者7社、26名が参加し、排水ポンプ車、照明車、対策本部車（拡幅型、バス型）及び待機支援車について、大規模災害時に人員確保が困難となることを想定して、最低限の人数による操作訓練を実施しました。

この時期には、中国技術事務所以外の災害対策用機械を保有している各事務所でも同様の操作訓練を実施しています。



開催挨拶



訓練全景



右側フロア展開状況



ホース設置作業



排水作業



発電機設置作業



照明展開作業



発電機設置作業

～訓練参加者のコメント～

- ・緊急時は戸惑うと思うので、定期的に機械の操作をすることにより、迅速な対応ができるようになると思う。
- ・若手を含め、人員を入れ替えながらできるだけ多くの社員を参加させたい。引き続き訓練の開催をお願いします。
- ・排水ポンプ車のポンプ及びホース設置・収納作業を、短時間に3人で行うことは、かなりの重労働になるので、人員の確保が重要なことがわかった。

国土交通省コーナー

『土研 新技術ショーケース2019 in 広島』開催!!

6月12日(水)に「土研 新技術ショーケース2019 in 広島」(主催:国立研究開発法人 土木研究所)が平和記念公園内 広島国際会議場で開催され、約450人と多くの来場者に聴講いただきました。

本ショーケースは、土木技術に対する社会的要請、国民のニーズ、国際的なニーズを的確に受け止め、優れた成果の創出により社会への還元を果たすことを目標とし、自然災害の防止・軽減、生活環境の改善、社会資本ストックの管理の高度化、省エネルギー・省資源等の地球環境問題への対応、積雪寒冷に適応した社会資本整備など、様々な分野における新技術の研究開発の内容を広く紹介するために、毎年全国各地で開催されています。

中国地方整備局からは竹田機械施工管理官による「中国地方整備局の新技術の取り組み」の講演のほか、2019年度中国地方のi-Constructionの進め方や中国技術事務所での小型無人航空機(操縦者)研修等のパネル展示を行いました。

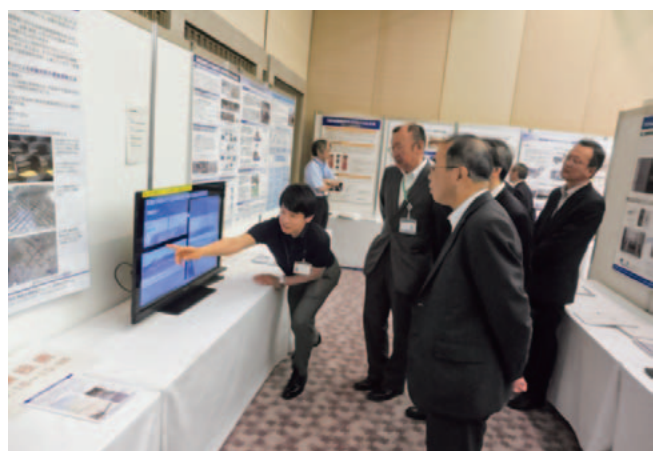
今年度は、今回の広島会場をかわきりに、全国5箇所(広島、東京、仙台、札幌、名古屋)で開催を予定しています。



水谷中国地方整備局長
来賓挨拶



竹田機械施工管理官の講演
「中国地方整備局の新技術の取組」



パネル展示状況
土研の職員による説明・技術相談



●土田 広島大学防災・減災研究センター長による特別講演
平成30年7月豪雨における土石流による住宅及び社会基盤施設の被害と今後の研究課題

お知らせコーナー

今後の行事予定

日 時	区 分	行 事 名	内 容	備 考
令和元年 10月28日(月)	発表会	第45回新技術新工法発表会 場所：広島市まちづくり市民交流プラザ 定員：110名	今年度第2回目の「新技術・新工法」の発表会。技術発表4課題の他、「国土交通行政の最近の状況」「中国地方整備局の新技術・新工法の取組」について講話を予定しています。	会 員 及 び 一 般
令和元年 10月30日(水)	研修会	土木機械設備技術研修会 定員：20名	土木機械設備（水門ゲート設備、ポンプ設備、道路付属設備）等の維持管理に携わる技術者を対象として、実地において維持管理の状況や課題等について研修を行うもので今回は斐伊川放水路（分流堰・神戸堰）を予定しております。	会 員
令和元年 11月7日(木)	研修会	第70回新技術活用現場研修会 定員：20名	新技術の活用について、実地において施工状況、課題等研修を行うもので今回は、山陰道（三隅・益田道路）を予定しております。	会 員

令和元年度「中国地方建設技術開発交流会」の日程が決まりました。

今年度の開催日程は次の通りです。

地 区	開催日時	場 所（会場）
鳥取県	11月6日(水) 10:00～16:00	倉吉未来中心ホール 倉吉市駄経寺町212-5
島根県	11月12日(火) 10:30～16:30	くにびきメッセ 松江市学園町1-2-1
岡山県	10月31日(木) 10:00～16:00	山陽新聞さん太ホール 岡山市北区柳町2-1-1
広島県	10月29日(火) 10:00～16:00	広島県民文化センター 広島市中区大手町1-5-3
山口県	10月15日(火) 13:00～17:00	山口県健康づくりセンター 山口市吉敷下東3-1-1

（一社）日本建設機械施工協会中国支部は実行委員会に参画しています。多数の皆様の参加をお願いします。

交流会HP http://www.cgr.mlit.go.jp/ctc/tech_dev/kouryu/intro.hym

令和元年度「建設技術フォーラム2019 in ひろしま」の日程が決まりました。

今年度の「建設技術フォーラム2019 in ひろしま」は、次の会場で開催されます。

（一社）日本建設機械施工協会中国支部は実行委員会に参画しています。多数の皆様の参加をお願いします。

○日時：令和元年11月26日(火)～27日(水)

○場所：広島産業会館 東館（広島市南区比治山本町）

編集後記

「令和」に替わって早3カ月。やっと、日々の生活している身近なところでも新しい年号に交替が進んできました。新デザインのお札の案も公表され、新元号が刻印された硬貨の製造が始まりました。巷では、終わってしまった前の時代への嘆きより、新しい時代の幕開けに期待する声が増えています。ともすると暗いニュースが伝えられることが多く、なにかしら閉塞感が感じられる中、これらの声は非常に希望が持てるようです。

さて、発行が遅れていましたCMnavi52号ですが、5月に開催した通常総会の状況、この4月以降に中国支部において取り組んだ報告会を掲載させて頂きました。業務等の都合から参加出来なかった皆様には、今後も引き続きセミナー等の開催に努めて参りますので、極力参加して頂くようお願いします。

広報部会

令和元年 8 月発行

編集・発行 （一社）日本建設機械施工協会中国支部機関誌編集委員会

〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 築地ビル402

TEL 082-221-6841

FAX 082-221-6831

<http://www.jcmanet.or.jp/chugoku/>

E-mail jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp